

令和4年度 情報リテラシー(数理データサイエンス入門)自己点検評価について

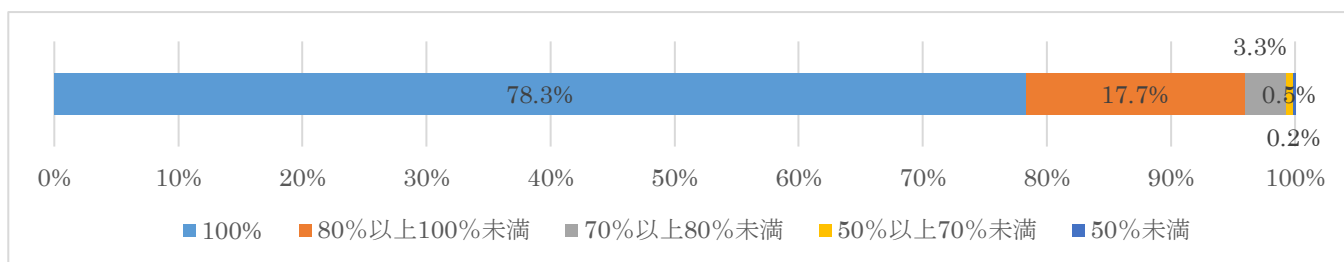
1. 履修率・修得率について

| 学生数 | 履修 | | 修得 | |
|-------|-------|-------|------|-------|
| | 履修者数 | 履修率 | 修得者数 | 修得率 |
| 2203名 | 1994名 | 90.5% | 1912 | 95.9% |

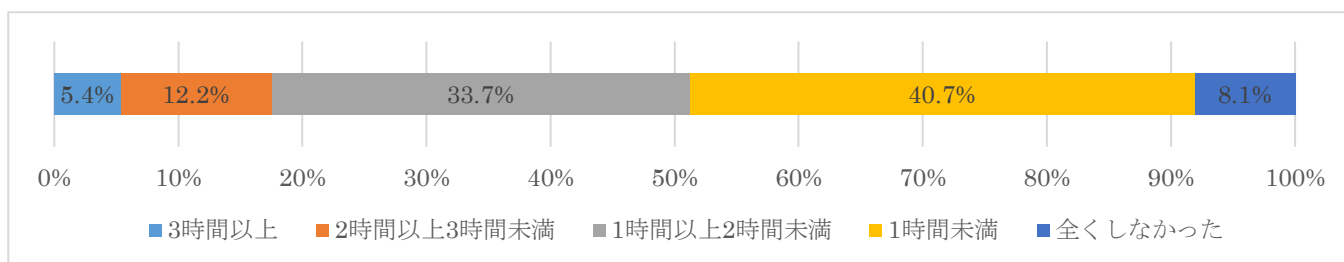
※ 学生数は令和4年5月1日付。

2. 授業アンケート結果について

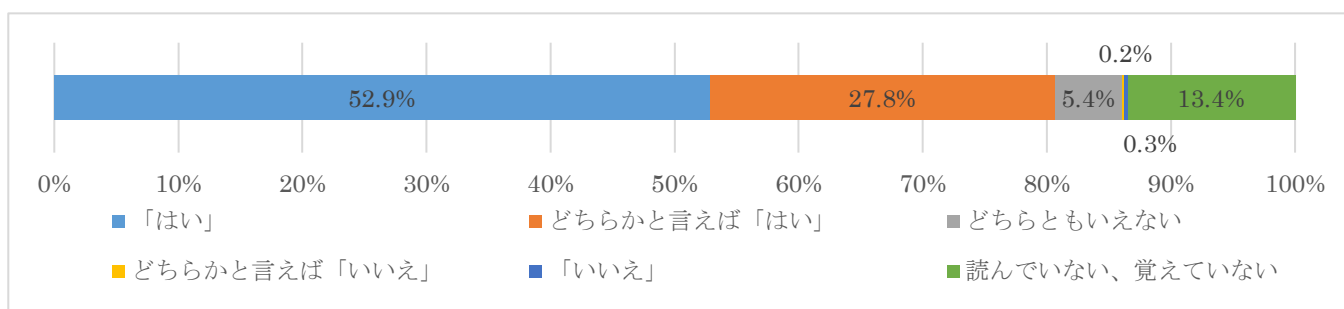
Q1 あなたはこの授業への出席率はどの程度でしたか。



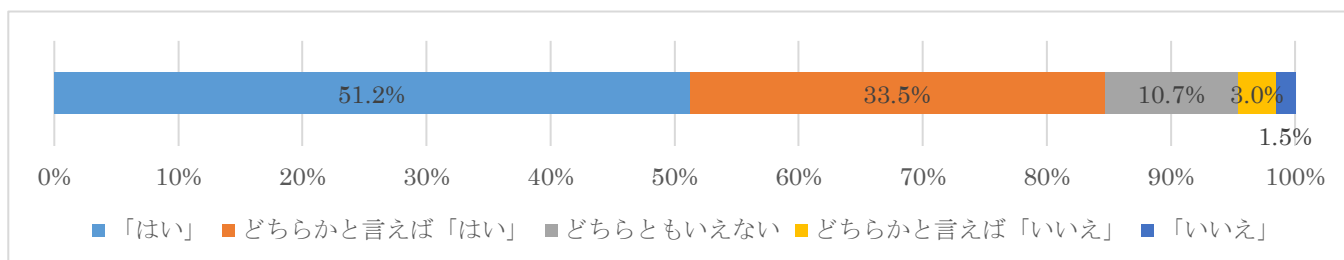
Q2 この授業について、予習・復習や課題など、授業時間以外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。



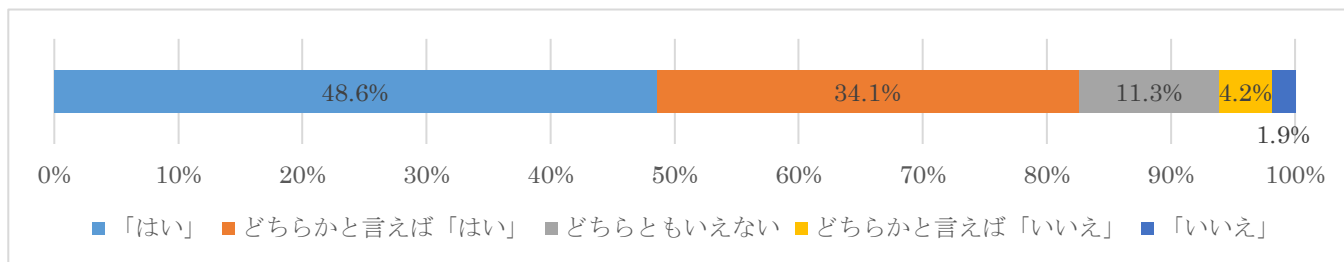
Q3 実際の授業とシラバスに書かれた科目の目的や達成目標は合致していましたか。



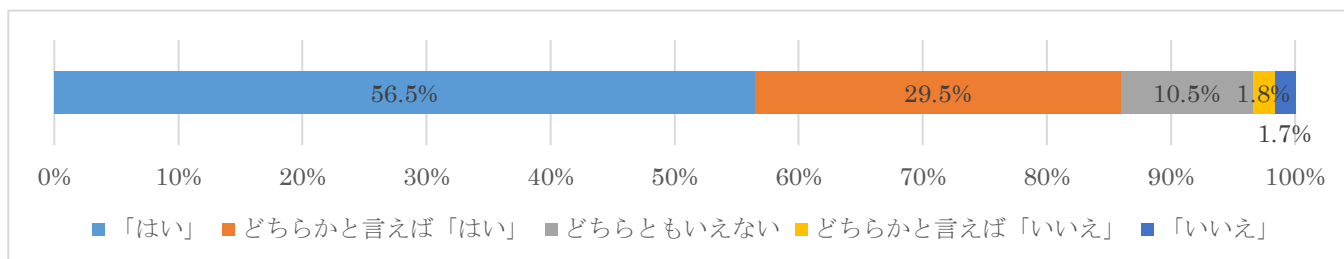
Q4 教員は、学生の理解度・習熟度を把握しながら授業を進めていましたか。



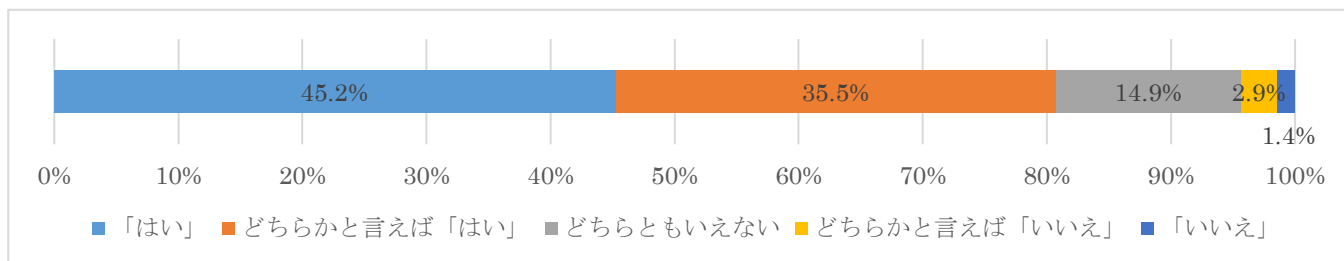
Q5 教員の教え方はあなたにとって適切でしたか。



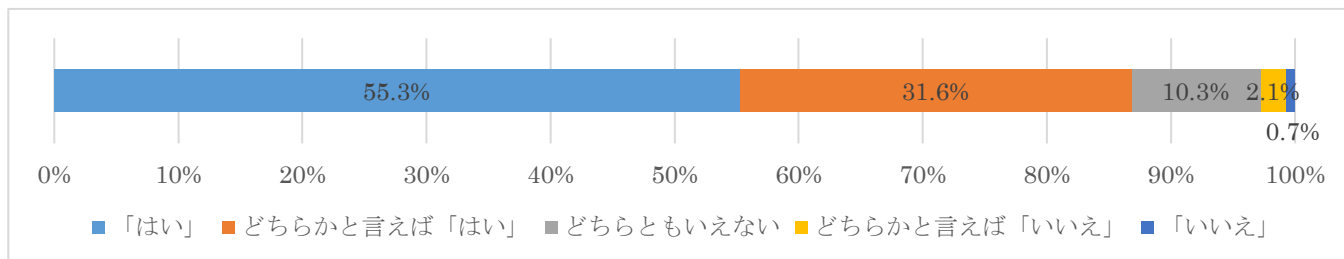
Q6 教材は役立ちましたか。



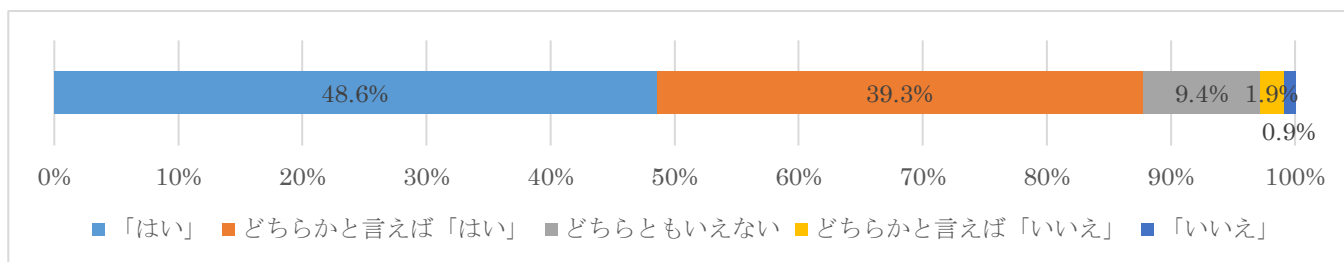
Q7 教員は、学生が授業に意欲的に取り組めるように工夫していましたか。



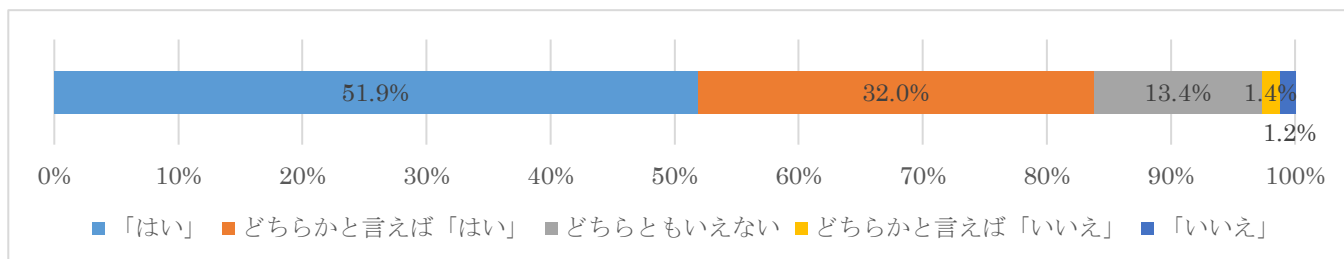
Q8 教員は、成績評価の方法や基準をシラバスや口頭、配布資料などで明確に示しましたか。



Q9 この科目の授業内容を理解・習得できましたか。



Q10 この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。



Q11 この授業について、良かった点を具体的に書いてください。

- ・授業が面白かった。
- ・実際に役立ちそうな知識を得ることができてよかった。
- ・実際にグループで調べ学習していくのがよかった。
- ・情報倫理や科学技術の未来についてなどもっと詳しく知りたい。
- ・外部からの資料等もあり調べながら進められたこと。
- ・将来に必要な office ソフトウェアや、現代社会のデータサイエンスについての課題に意欲的に取り組められた点。
- ・ソフトやデータの扱いの説明に関する資料が丁寧だった。
- ・すぐに質問できる体制が整っていました。
- ・授業の内容が良かったので、分かりやすく、楽しんで取り組むことが出来た。

Q12 この授業について、改善した方がよい点、改善のための提案等を具体的に書いてください。

- ・授業の進行がはやく感じるがあった。
- ・難しい課題があった。
- ・実習の時間がもう少しとれるようにほかの部分の話を速めてもらいたかった。
- ・課題の内容がほかの科目に比べて時間がかかる。

3. まとめ

- ・履修率には 90%を超える結果となった。
- ・修得率についても履修した学生の約 96%が修得をすることができた。授業アンケートの授業の良かった点を回答する項目でサポートが充実していることをあげる学生も多かった。
- ・授業アンケートの結果から、多くの学生が積極的に授業に出席している結果となった。
- ・授業の理解についても9割近い学生から前向きな回答があった。またプログラムの内容への興味・関心についても8割程度の学生から前向きな回答が得られた。
- ・この分野を苦手とする学生や PC の操作に慣れていない学生については、時折、授業の進行が早く感じることや課題が難しいと感じることがあったようであった。

以上